

# トマトジュース 医療従事者 力に

藤沢の生産者 贈呈

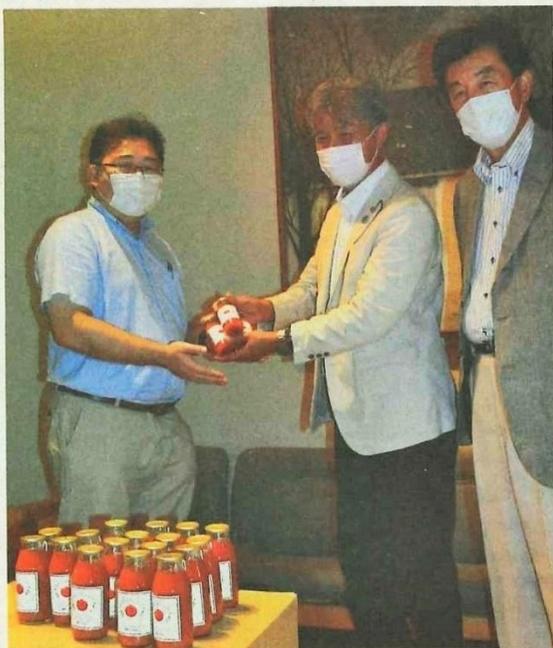
J Aさがみ藤沢市ハウス部の生産者約70軒が5、6月頃に収穫した約240キロのトマトを利用。完熟した生食用をそのまま加工し、栄養価だけでなく味にもこだわった。

トマトはビタミンが豊富で、リコピンなどを多く含む健康野菜。当初は収穫したてをそのまま贈る予定だったが、調理の手間がかからず、忙しい医療従事者でも手軽に口にできるようにジュースにしたという。

同部の井出茂康部長(井出農園経営)は「危険を顧みずになんばっている皆様には頭が下がる。一生懸命作ったトマトジュースを飲んで、元気でいてほしい」と話した。

ジュースは同医師会を通じて、PCR検査や救急医療などを担当する医療従事者約150人に届けられる。

新型コロナウイルスの対応にあたる医師や看護師らを応援しようと、藤沢市内のトマトの生産者の代表が27日、自分たちが育てたトマトで作ったジュース840本を同市医師会にプレゼントした。加工したのは、平塚市内の社会福祉法人進和学園の利用者たち。同医師会担当者は「心のこもった特別な贈りものです」と感謝の言葉を述べた。



藤沢市医師会の安永慎吾主幹(左)に、  
トマトジュースをわたす井出茂康・部長  
(中央)ら(27日、藤沢市医師会で)